

令和7年10月15日
函館開発建設部

23年目のおもてなしに向けて、花の撤去活動を行います

～「はこだて花かいどう」22年目の撤去活動～



シーニックバイウェイ北海道「函館・大沼・噴火湾ルート」の活動団体である「函館花いっぱい道づくりの会（愛称名：はこだて花かいどう）」では、函館市の玄関口である国道5号（函館新道）を花いっぱいにする花植活動を、地域の町会やスポーツ少年団などの団体が協力し行っており、22年目の今年は6月7日（土）に約8,000株の花苗を植え、毎月維持管理活動を行っていましたが、花が咲き終わりましたので、来年の植栽に向け、花の撤去活動を行います。

記

- 1 日時 令和7年10月26日（日）8時30分～
- 2 実施場所 国道5号【函館新道】沿道
- 3 集合場所 函館開発建設部 函館除雪ステーション構内
- 4 実施団体 函館花いっぱい道づくりの会（愛称名：はこだて花かいどう）

※一般参加の募集も行っています。

活動内容の詳細、参加に関する問合せ先については、「別紙」にてご確認ください。

参加される方は、軍手を持参の上、動きやすい服装にて集合場所へお越しください。

※取材をご希望される方は、事前に以下の問合せ先までご連絡ください。

※車でお越しの場合は、DCM株式会社 石川店の駐車場をご利用ください。

※雨天の場合は中止になることがございます。

※函館開発建設部では、シーニックバイウェイ北海道の取組を支援しています。

詳細は、シーニックバイウェイ北海道推進協議会ホームページをご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/ud49g700000n0ut.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

特定道路事業対策官 酒井 亮司（電話 0138-42-7629）

道路計画課道路調査官 高橋 将（電話 0138-42-7609）

函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



「はこだて花かいどう」～花植活動～

「函館花いっぱい道づくりの会」は、平成16年から函館開発建設部函館道路事務所、函館市及び一般財団法人函館市住宅都市施設公社との4者にて締結されたVSP（ボランティアサポートプログラム）の協定に基づき、沿線の企業から花苗の提供等のご協力をいただきながら、毎年道路の緑化・清掃活動を実施している団体です。

函館の玄関口である函館新道で『おもてなし』の気持ちを込めて、たくさんのお花でお迎えしたらどんなに喜ばれるだろうという思いから始まった活動は、小・中・高校生やスポーツ少年団などの子供から地域の各町会の大人まで、老若男女様々な団体が参加し活動を行っております

活動20年目の節目を迎えた令和5年度には、花植活動と併せて記念イベントも行い、総勢800名の方にご参加いただきました。また、同年度、『おもてなし』の気持ちを込めた活動の功績が認められ、国土交通大臣表彰「第38回手づくり郷土賞」を受賞し、その受賞を励みに活動を続けています。



手づくり郷土賞 伝達式

○函館花いっぱい道づくりの会の構成団体(25団体)

NPO法人

- ①NPO法人スプリングボードユニティ21

1団体

組合等

- ②函館亀田農業協同組合
③JA函館市亀田年金友の会植物愛好部会
④はこだて花かいどう友の会
⑤函館手工芸の会

4団体

町会

- ⑥石川町会
⑦桔梗町会
⑧桔梗北町会
⑨桔梗西部町会

4団体

学校

- ⑩桔梗小学校
⑪北美原小学校
⑫中の沢小学校
⑬亀田中学校
⑭桔梗中学校
⑮北海道函館高等支援学校

6団体

少年団

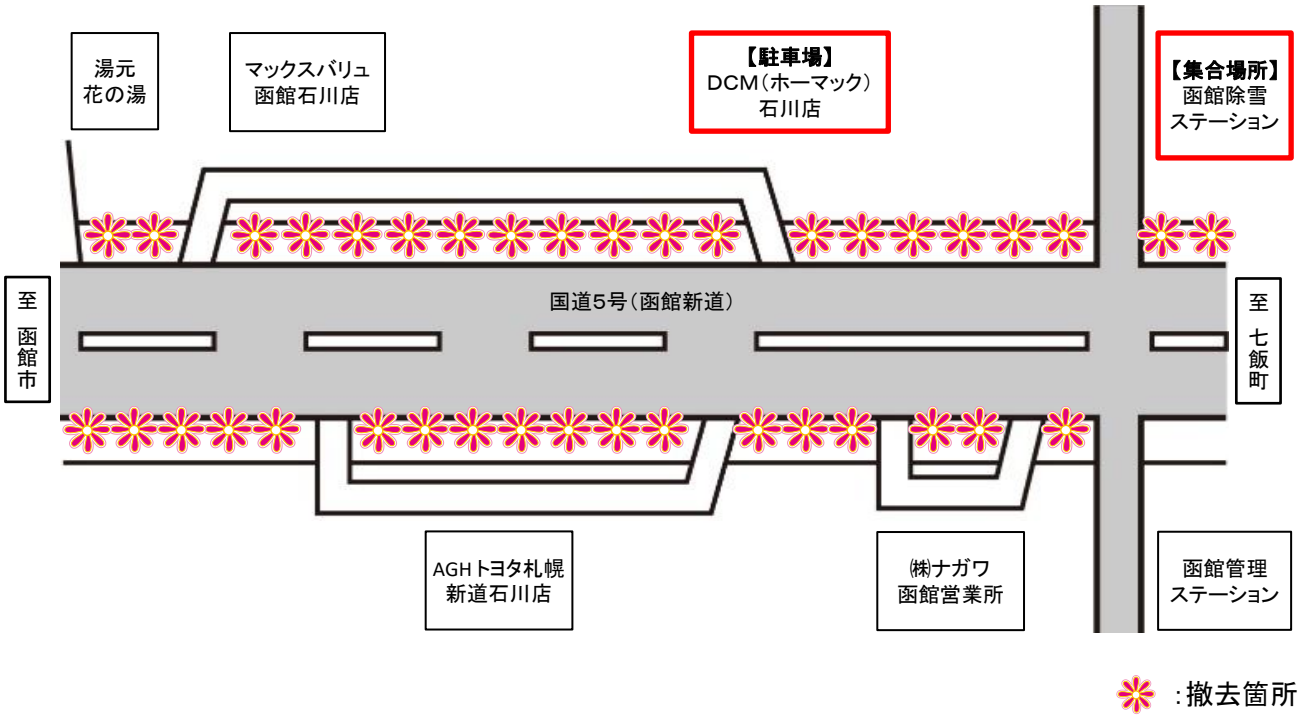
- ⑯石川ノースフォックススポーツ少年団
⑰ききょうスポーツ少年団
⑱昭和レンジャーズスポーツ少年団
⑲北斗ペガサス野球少年団
⑳大中山野球スポーツ少年団
㉑浜分ヤンキーススポーツ少年団
㉒北浜スポーツ少年団
㉓港町スポーツ少年団
㉔昭和ジャスティススポーツ少年団
㉕プレイフル函館フットボールクラブ

10団体

○撤去活動 実施場所



実施延長 約1Km



○問合せ先

函館花いっぱい道づくりの会 事務局(スプリングボードユニティ21)
TEL:0138-45-7576
※一般参加を希望される方は、10月20日(月)までにお問い合わせください。

○「はこだて花かいどう」活動について

花植活動



▲6月の花植活動状況。約750名が参加し、約8,000株の花苗を植樹帯へ植えました。

維持活動



▲7、8、9月の毎月1回、全体維持活動日を設け、雑草取りや水やりなどを行い丹念に手入れを行います。



▲植栽した花々は、10月下旬まで咲き続け、訪れる人々をお出迎えます。

堆肥作り活動



▲撤去した花は廃棄せず、ミズが生息する堆肥作り場で自然分解させ、翌年の植栽活動の堆肥にします。

撤去活動



▲10月下旬、咲き終わった花の撤去および周辺の清掃活動を行います。

※写真は、令和6年度の活動状況